

目 標

我々、いわき経済同友会会員は、企業経営者の異業種交流活動を通して、三つの目的を達成し、仲間の連帯を深め、地域経済の発展と活性化をはかり、夢と希望に満ちあふれた地域社会づくりをめざします。

SEA

いわき経済同友会
IWAKI

3つの目的

- 1つ よい社会をつくろう
- 2つ よい経営者になろう
- 3つ よい経営環境をつくろう

11月号／2014年11月1日発行

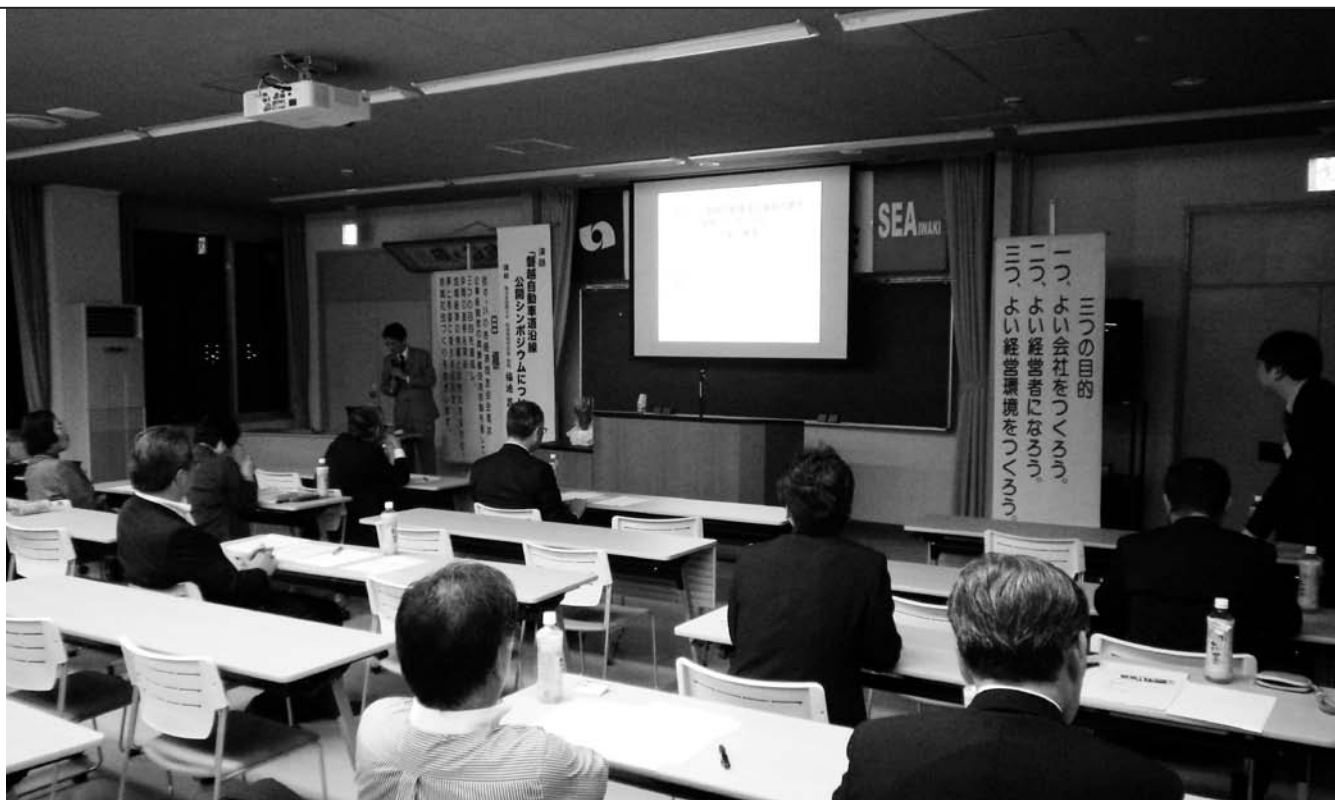
10月例会・第1回臨時総会

■10月14日(火)
19:00～

テーマ 「磐越自動車道沿線公開シンポジウムについて」

講師 東日本国際大学 経済情報学部長・教授 福迫 昌之氏

会場 建設会館 5F
大会議室



10月例会の講師は東日本国際大学教授福迫先生に来て頂き、7月に開催した「磐越自動車道沿線公開シンポジウムについて」の意義についてお話を賜りました。

1. 「磐越自動車道沿線拠点都市復興 シンポジウム」の今後の展望については、それぞれの市に於いて、考えて頂く内容ですが、いわき経済同友会としてもこれを機に果していく必要があると思います。

今回のシンポジウムの結果は皆さんがこれから、どのように発展させていくかに、かかっていると思います。

磐越自動車道の意義について、私なりの考えもありますが、日本の中でも、珍しい横軸のネットワークが“本当に機能するのだろうか？”と書いていましたが、先の震災を機に、その必要性がクローズア

ップされる中で、今回4市の市長が一同に会する機会を設けたことは、大いに意義があったのではな

カラーが贈られました

◆ 誕生月プレゼント

安田友紀さん(10月27日生)
寺主君男代表幹事





いでしょうか。また、4市長に於かれましては、真摯に向き合い、今後の発展も視野に入れつつ参加してくださいました。

シンポジウムについて、他市の新聞、福島の新報等にも掲載されましたが、この開催を驚きと、どのように捉えたらよ

のか、周りもあまりよく分らなかったのではないかと思います。きっかけはやはり震災の結果です。磐越自動車道を通しての被災者避難、支援、復旧、復興支援が実際に行なわれたことにあります。

※いわき経済同友会としてのビジョン、ミッション

● 横軸の必要性

日本の交通が東京中心の縦軸に発達。震災よっての縦軸機能不全の状況によって横軸の重要性が認識されました。

● 拠点都市の重要性

地方が今後生き残る為の拠点としての都市の必要性があります。

〈日本創成会議・人口減少問題検討分科会〉

【「不都合な真実」を正確かつ冷静に認識する】

【対策は早ければ早いほど効果がある】

【基本は「若者や女性が活躍できる社会」を作ることである】

※いわき市の都市戦略としての「横軸」とは？

いわき市の都市としての戦略、全国的に人口減少問題（いわき市は人口が増えた）

2. シンポジウムの反省・振り返り

● 都市ビジョン・都市戦略は？

● 連携ビジョン・連携戦略は？

● 広域連携の必要性＝広域コミュニティ意識は？ シンポジウム当日の資料からみる各市の意識

〉会津若松市 経済基盤の危機意識 民間防災のネットワークづくり

〉郡山市 拠点として、他市との連携を受けける形で協調

〉新潟市 危機意識が非常に強い。新潟県一番の都市として意識が高い。農業、水産業

3. 今後の展望・展開

● 「震災復興」+「地方創生」→ 危機感の共有がネットワークを促進する

〉セーフティ・ネットワーク：防災協定

〉グローバル・ネットワーク：産業連携

● 行政の枠を超えた「ビジョン」と「アクション」の必要性

◎やれることからやる。楽しいことから始める。

福迫昌之氏（1967年4月6日生47歳）プロフィール
東日本国際大学経済情報学部長・教授(兼)地域経済・福祉研究所長
いわき市出身
1986年3月福島県立磐城高等学校卒業
1991年3月慶應義塾大学商学部卒業
1993年3月慶應義塾大学大学院社会学研究科社会学専攻修士課程修了(修士(社会学))
(財)電気通信政策総合研究所嘱託研究員
東日本国際大学専任講師助教授国立福島工業高等専門学校非常勤講師等を経て
2007年より 東日本国際大学 経済情報学部教授(兼)地域経済・福祉研究所長
2012年より 経済情報学部長(兼務)（現在に至る）

フランス マルクール研究所視察旅行

※視察報告書を次回会報誌に掲載いたします。

研修委員会

平成26年10月4日(土)～10日(金)

将来の原子カシステム、放射性廃棄物管理、原子炉の解体、廃炉等の研究所



10月グループ会報告

関税特区研究グループ会

■日 時 10月7日(火曜日)19:00～
■場 所 建設会館 3階

講師 商工会議所副会頭 小名浜まちづくり市民会議最高顧問

小名浜製錬(株)顧問 正木好男様

テーマ 小名浜製錬(株)における地域貢献と地域生産活動について

- ①銅の用途について
- ②世界・日本・小名浜の銅地金生産量
- ③鉱石から製錬する日本の銅製錬所(東北唯一の精錬所)
- ④銅鉱石の主要輸入先について(平成25年度総受入数量 843,414t)
- ⑤製造工程(鉱石処理とリサイクル処理のハイブリッド製錬所)
- ⑥雇用状況の推移
- ⑦資材購入規模
- ⑧小名浜港及び用水の利用実績
- ⑨小名浜港滞船日数(小名浜のみ・平成25年下期)
- ⑩加入団体について

小名浜港近隣の企業がどのような形で小名浜港に関わっているかを知り、改めて活動の目的を確認することができました。



まちづくり観光グループ会

■日 時 10月21日(火曜日)18:00～
■場 所 建設会館 5F

小名浜地区商業関係経営者と、イオン対策及び小名浜まちづくりについて、現状と方向性を忌憚りの無い意見を頂きました。小野市議からは、行政(市)の考え方の説明を頂き、イオンモールオープン1年5ヶ月前になり、今、商業者が出来る事からスタートしなければとの危機感から、イオンモールと小名浜

のまちの共存を目指して、イオンモールのもたらす影響を推測し、課題を出し合いました。

また、市街地活性化法案、28年度中に国が指定するUR法案(コンパクトシティ)の内容などから、タウンモールリスポと小名浜支所など行政関連施設が老朽化しており、本町通りを含め、小名浜市街地の空地、空家の現状を考え区画整理を含めたコンパクトシティの方向性など意見もあり、人が行きかう生活感あふれるまちづくりへの第一歩となる会合ができたと思います。

スポーツ交流グループ会

■日 時 10月14日(月曜日)19:00～
■場 所 建設会館 5階

「10月通常例会」例会委員会と合同例会

資質向上研究グループ会

■日 時 10月25日(土曜日)8:00～
■場 所 喜多方方面の文化財を観る

重要文化財である新宮熊野神社長床は熊野神社の拝殿として建てられたもので、44本の太い柱に茅葺寄棟造り、周りには壁も戸もない吹き抜けの壮大な建物です。



喜多方市の天然記念物の銀杏の木は、まだ紅葉にはやく、11月中旬が見ごろ。飯豊とそばの里センターに行き、そば伝承館にて昼食をとり、そば資料館、ふれあい館、ふるさと館などを見学しました。

喜多方美術館 煉瓦づくりのクラシックな風情の美術館です。「小さくてもキラリと光る 美術館」を目指して会津地方や福島県にゆかりのある作家を中心に企画展を開催している。

喜多方蔵の里 社会福祉の母 瓜生岩子 喜多方が生んだ社会慈善家です。戊辰戦争の時には、紫外線の悲惨さに忍びなく、城下にて敵味方の区別なく負傷者の手当てに奔走し、日本のナイチンゲールと

呼ばれます。敷地内には多くの蔵があり見学と「90歳の女性の昔話と抹茶」を楽しみました。

大和川酒造の見学し、坂内食堂にて喜多方の味を楽しもうとしましたが、多くの方々が並んでおり、近くの来夢にて喜多方の味を楽しみました。無事に帰平する。

いわきブランド研究会

- 日 時 10月15日(水曜日)
- 場 所 和食酒場AFRO (アフロ)

カジキグルメ実行委員会の開催

本年度第5回カジキグルメ実行委員会市内平の和食酒場AFRO (アフロ) にて開催されました。

始めに実行委員長の武藤氏より、先日開催されたカジキグルメサミットが無事に終了した事の御礼と、今後の魚食普及に繋げたいとの感想を述べた後、森田氏からはサミットの成果、及び来年に向けた改善策等について説明があり、出席者との意見交換に入りました。

また、今年度のカジキ料理コンテストグランプリを獲得したアフロの常磐炭鉱石炭揚げを出席者全員で堪能致しました。

FMいわき「いわき経済同友会だより」

【11月予定放送】

- ・11月3日 企画総務委員会 幸 英治様
 - ・11月10日 情報委員会 田村慎太郎様
 - ・11月17日 例会委員会 松崎 貴弘様
 - ・11月24日 会員増強委員会 有賀 行秀様
- ◇毎週月曜日 17時45分からです。(約5分間)

●企画総務委員会

いわきJCとの懇談会

日時 10月30日(木) 19:00~
場所 イタリアンコート



この事業は、いわき経済同友会の活動を理解して頂き、若手経済人と情報共有し相互の今後の活動に役立てる事を目的とします。実現と成果については、概ね達成出来たと思われる。

1. 昨年度より若干参加者が少なかったが、今年度の参加者は、同友会の活動に非常に興味を持って頂き、活発な意見交換が出来たと思う。
2. 自己紹介を簡略化しましたが、思ったより時間がかかり、懇談の時間が少なくなりました。

11月通常例会・第2回臨時総会

日時/11月27日(木)

会場/いわき市生涯学習プラザ4階

会 食 18:30 講演会 19:30
例 会 19:10 懇親会 20:50

講 師 元 海上保安庁長官

現 日本空港ビルデング(株)取締役副社長 鈴木 久泰氏

(ラ・パリージャ)

テーマ 「海上保安庁と羽田空港」

12月公開例会 日時/12月5日(金)

会場/いわき建設会館5階

会 食 17:40 講演会 18:30
例 会 18:10 懇親会 20:20

講 師 IRID 技術研究組合 国際廃炉研究開発機構

理 事 及川 清志氏

広報チーム長 伊藤 友宣氏

テーマ 「(仮)原子力発電所、廃炉に向けて」

懇親会 天政 (会費:2,000円)

いわき経済同友会 ご入会のお薦め

いわき市内の企業経営者ならどなたでも入会できます

●会の趣旨に賛同される方は会員の推薦と所定の手続きによりどなたでも参加できます。お問い合わせは下記へどうぞ。ご入会を心からお待ちしております。

事務局 〒970-8026 いわき市平字童子町4番地-18 いわき建設会館4F
TEL 0246-23-1200 FAX 0246-23-1211
http://www.seaiwaki.jp
E-mail:doyukai@triton.ocn.ne.jp

発行 いわき経済同友会 寺主君男代表幹事
編集 情報委員会 委員長 小野英典
副委員長/坂本和久・田村慎太郎・馬場学
山崎勇一郎